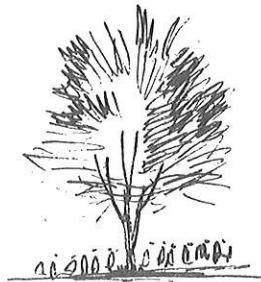


光の子



No.112 2005.1.1

●今年の聖句 イエスは言われる。「わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。」(ルカによる福音書22:32)

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

社会福祉法人

光の子どもの家



「新年おめでとう」

挿絵・中島英子

「初景色」

一音もなき田に初日沁みわたる

てつべんに暮を載せたる初景色

煤染の匂ひたちたる淑氣かな

ひとすぢの罅をさだかに初竈

松風のひるがへしたる初曆

初漁の水尾ながながと曳き行けり

節曰まぶしき山河展たり

黛 執
〔春野〕主宰

ひかりのこ No.112
 貸した本
エッセイ
中島 瞳雄
 映刻家 中島 瞳雄

久し振りに遠方から、友達のH君がやって来た。楽しいものである。
 しかも、奥さんと一緒に。
 「泊まっていきよ」と、多少強引に引きとめて、一泊してもらった。

夕食後、酒を飲みながら雑談していると、何のキッカケだったか彼は「あの頃は芥川龍之介をよく読んでいたなあ」と言つた。「室生犀星と文学全集に入っていたよなあ」とも言った。

そして、急に思い出した。室生犀星の「わが愛する詩人の伝記」という單行本である。昭和三十年代の初め頃だった。非常に気に入った本だった。手頃なページ数と、本の大きさや装丁も大好きだった。しかし、内容については殆ど覚えていない。ただ、その本全体が好きで、いつも持ち歩いていたものだ。

そんな大好きな本を、いつだつたところが、その本が返つて来ない。誰に貸したんだつけなあ、A君にだ

るかも知れない。

本屋街をうろうろすることが多くなるかも知れない。

友達のH君は言う。「文庫本で出ているかも知らないよ。しかし、文庫本ではダメなのである。あの大きさ、あの重さ、あの装丁の本が欲しいのである。「わが愛する詩人の伝記」。最近、神田の古書店散歩とかいう本を手に入れた。今年は、神田の古本屋街をうろうろすることが多くなるかも知れない。

ひかりのこ No.112
 希望が見えるところまで
施設長 原 菅 哲 男

久し振りに遠方から、友達のH君がやって来た。楽しいものである。
 しかも、奥さんと一緒に。
 「泊まっていきよ」と、多少強引に引きとめて、一泊してもらった。

夕食後、酒を飲みながら雑談していると、何のキッカケだったか彼は「あの頃は芥川龍之介をよく読んでいたなあ」と言つた。「室生犀星と文学全集に入っていたよなあ」とも言った。

そして、急に思い出した。室生犀星の「わが愛する詩人の伝記」という单行本である。昭和三十年代の初め頃だった。非常に気に入った本だった。手頃なページ数と、本の大きさや装丁も大好きだった。しかし、内容については殆ど覚えていない。ただ、その本全体が好きで、いつも持ち歩いていたものだ。

そんな大好きな本を、いつだつたところが、その本が返つて来ない。誰に貸したんだつけなあ、A君にだ

希望が見えるところまで

施設長 原 菅 哲 男

君たちが二歳ぐらいの幼児だった頃は、ヒヨンヒヨン飛び歩いたり、キャーキャー泣き立てる、誰かにしがみついていなければひとりでもたまらないほど寂しがっていたよ。それを見ている大人たちは、できるだけ抱っこしながら暖めてきたつもりだよ。そして、幼稚園から小学校低学年までは見るもの聞くものが珍しくて、「ねえ、これなーに?」とか、「これどうして?」などと聞き続けていた。そして小学生高学年から中学高校生になると、「何でオレだけが施設で暮らさなきゃいけないわけ?」などという、自分の今ある状態について、不条理を感じ、そして異議申し立てをしないわけにはいかなかつたのは当然のことだ。

そんなみんなの思いの丈が不平や不満に聞こえて、ずいぶんひどいことを言つたこともあつただろう。

あるかわいい中学生が町中のグ

ループホームで保育士や幼い頃から一緒に兄弟のように仲間たちと一緒に遊んでいた。ある日、その保育士が表札のある門柱に雑巾がかけたまま置き忘れていたのを取り込んでおいた。ところが翌日も次の日も雑巾が門柱にかけられていた。ふと、誰かが表札に自分と違う保育士の名字が記されていました。これを恥じてしたことなんだと気がついた。私が相談されたのでは、「君たちが何か悪いことや恥ずかしいことをしたから恥じるのだろうか。」とみんなに聞いた。その子もみんな黙っていた。

ある年、TVの取材があつた。この子どもたちは大変な状況なのに、よく自分らしくあるように努力していることをまじめに伝えたいと承諾した。職員たちは、「子どものプライバシーを守るべきだ。」と取材に厳しい条件を付けた。

映像は、斜線とぼかしを入れて放映された。それを見た撮影された主演級の女子高校生は、「私ってハ・シ・ニ・ン?」と私に聞いてきた。みんなと暮らしていく感じの悲しいことや寂しいこと、怒りや異議、嬉しいことや優しさなど多様なことを感じさせられてきた。

だから、自分の生き立ちなどを見誤つて欲しくない。児童養護施設光の子どもの家で暮らすことのどこが悪い? 何がいけないと気がついた。誰が嘘をついたとしても自分は知っている。自分には嘘をつけないだろう。一番高いハードルを越えた人は評価され賞賛されるのが常だ。なのになぜ、児童養護施設光の子どもの家で暮らしていくことを恥じるのだ。君たちはここにいるどの大人たちよりも高い高いハードルに挑戦している志の高い子どもたちなのだ。

決して恥じることはない。ここにいることの責任のひとかけらも君たちにはないのだから。

さあ歩こう。これまで見たことなく店に入ったまでであつた。しかし、そこで出会った一つの茶わんに、思わず引きつけられてしまつた。ご飯の茶わんにしては少し大きい。抹茶の茶わんかも知れない白っぽい、何とも言えない穏やかな形段は安すぎる。李朝の影響による日本本の焼き物なんだろうか。どちらにしても素晴らしい。実際に良い。しかし、私の給料とのバランスに於いては、オイソレとは手が出ない。現金も持ち合せていない。残念である。

私は午後、又出かけて見た。翌日午前中も行って見て、茶わんの前でタメ息をついた。

帰る日、もう一度行つてみた。買わずに帰つて後悔するなら、いつそひと買い買つてしまおうか、前後の見境がなくなりつつあった。しかし私の心の奥にひそむ臆病さがそれを押しとどめ、買わずに帰つてしまつた。

あれから何十年か経つた。形も色もはつきりと覚えている。やっぱり買っておけば良かつた、と思つてい

学者もどきのつぶやき ⑥六
「自然と人間の共生」について
山形大学学長 仙道 富士郎

二〇〇四年四月から国立大学が法人化され、大学内でいろいろなことが変わったことはまことに紹介した。その中で最も大きな変化の一つは、六年間を一つのクールとして各国立大学は中期目標なるものをそれぞれ掲げ、それを達成するための具体的な計画を策定し、実行しなければならないことである。六年後には外部の人達による評価が決定されるという仕組みである。いろいろな戸惑いもあり、法人化のすべてが大学の将来にとつて益となるものでもないが、予算が減っては大変なので各大学は独自の特徴あるプランを示そうと躍起になっている。

「人生は出会いである」とは幕末明治の日米交流秘話を書いた八木一文氏が書いた言葉である。彼は「新世界と日本人」という本の中で、海難漂流という悲惨な偶然で鎖国日本を離れ、全く思いもよらず新しく環境の中で新しい場面や人に出会い、人生の一ページを書き記していくことになるだろう。

「人生は出会いである」とは暮末明治の日米交流秘話を書いた八木一文氏が書いた言葉である。彼は「新世界と日本人」という本の中で、海難漂流という悲惨な偶然で鎖国日本を離れ、全く思いもよらず新しく環境の中で新しい場面や人に出会い、人生の一ページを書き記していくことになるだろう。

山形大学では中期目標の中心となるスローガンとして3つの理念を設定した。1・「自然と人間の共生」2・「充実した人間教育」3・「社会との連携重視」である。特に「自然と人間の共生」は山形大学の最も重要な理念であり、それを具体化することに心を碎いているが、このスローガンのところを少し説明してみたいと思う。

いま世界は争いに満ちていると言わざるを得ないことは皆さんもお認めになることと思う。イラク戦争をその最大のものとして、イスラエル・パレスチナ紛争、チエーン紛争等々、正義の戦いの名のもとに多くの人命が日々奪われている。我が国に目を転じてみると、少年の凶悪犯罪の増加など暗い話題が多い。なぜなのだろうか。正確な答えは誰にも分かるまい。しかし、科学技術の発達とともになうに思われる。そしてその欲望の行きつく先は、人間同士の殺しあいであり、自然破壊である。

このような物質的な欲望、そし

てそれを満たすための財獲得の諸活動に基盤を置いた現在の物の考え方の基準を克服しなければ、新しい地平は見いだせないのでないか。それが「自然と人間の共生」を山形大学の理念として掲げるところである。欲望の連鎖から一步身を退いて、自然に感謝し、自然と調和しながら生きていくことを、ニューパラダイムとして歩を進めなくて行こうではないかということが私のメッセージである。

まず「自然と人間の共生」の実像を探る必要がある。その手がかりとして法人化初年度にあたる今年は、「自然と人間の共生」の大切さを訴え、またその実現に向けた実際の行動を開拓している人達を大学に招き、リレー講義をしてもらうことにした。その著書で名前を知っているだけで一面識もないその道の著名人にも「駄目もど」で講義のお願いをしたが、皆さん承諾してくれ、こちらが驚いてしまった次第。

何よりも嬉しいのは、学生諸君が各講師の熱弁にしつかりと対応した感想文を書いてくれていることである。彼らは、おそらく多くの学生ははじめて、自然の大しさに気づき、自然との共生の中で人間は生きていかなければならぬという認識を持ちはじめたことを感じさせる筆ぶりで、しばらくぶりに教師冥利にひたりきっているところである。

「日本よ森の環境文化国家たれ」の著者の国際日本文化研究センター教授安田喜憲氏は一万年以上も前の地層の変化を一年単位で観察出来る技術を紹介しながら、現在の人にによる環境破壊が続けば二

新年おめでとうございます。二〇〇四年もいろいろなことがあったが、なんとか終えることができ、二〇〇五年という新しい年がまた神様から与えたれた。今年は娘が高校生活最後を締めくくる年で、進学する大学次第で家族が離れ離れるくなる節目の年になる。それぞれ新しい環境の中で新しい場面や人に出会い、人生の一ページを書き記していくことになるだろう。

二〇〇五年も北太平洋を漂流の末アメリカワシントン州に漂着した話がある。十四人の乗組員のうち生き残ったのは三人だけ。十四才の音吉、十五才の岩吉、二八才の久吉は現住民に奴隸扱いされたのち、転々として、日本送還のために中国のマカオに送り届けられ、そこでキリスト教宣教師のギュツラフに預けられた。ギュツラフはこの三人の日本人漂流民から日本語を学び、ヨハネ福音書のカタカナの日本語訳を出版した。その当時のヨハネ福音之伝はこのように始まる。「ハジマリニカシコイモノ、ゴクラクトモニゴザル」。(初めてに言がつた。言は神と共にあつた)漂流していつ命が絶たれるかもしれない

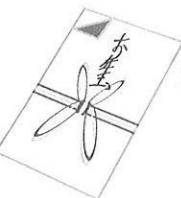
ら、ヨハネ福音書のカタカナの日本語訳を書いた。それによって、日本語で回答を書いたのはあの時残ったのは三人だけ。十四才の音吉、十五才の岩吉、二八才の久吉は現住民に奴隸扱いされたのち、転々として、日本送還のために中國のマカオに送り届けられ、そこでキリスト教宣教師のギュツラフに預けられた。ギュツラフはこの三人の日本人漂流民から日本語を学び、ヨハネ福音書のカタカナの日本語訳を出版した。その当時のヨハネ福音之伝はこのように始まる。「ハジマリニカシコイモノ、ゴクラクトモニゴザル」。(初めてに言がつた。言は神と共にあつた)漂流していつ命が絶たれるかもしれない

今までの私の人生の中で出会いは何であつただろうか。短大を出てまもなく、アメリカ留学を志したのはもちろん勉強心からでもあるが、私にとって「出会い」への期待もあつたようだ。渡米一ヶ月も北太平洋を漂流の末アメリカワシントン州に漂着した話がある。十四人の乗組員のうち生き残ったのは三人だけ。十四才の音吉、十五才の岩吉、二八才の久吉は現住民に奴隸扱いされたのち、転々として、日本送還のために中國のマカオに送り届けられ、そこでキリスト教宣教師のギュツラフに預けられた。ギュツラフはこの三人の日本人漂流民から日本語を学び、ヨハネ福音書のカタカナの日本語訳を出版した。その当時のヨハネ福音之伝はこのように始まる。「ハジマリニカシコイモノ、ゴクラクトモニゴザル」。(初めてに言がつた。言は神と共にあつた)漂流していつ命が絶たれるかもしれない

今はまだ、そのことを先生に伝えると何よりも先生が私を信用して下さったことはもうもちろん勉強心からでもあるが、私にとって「出会い」への期待もあつたようだ。渡米一ヶ月も北太平洋を漂流の末アメリカワシントン州に漂着した話がある。十四人の乗組員のうち生き残ったのは三人だけ。十四才の音吉、十五才の岩吉、二八才の久吉は現住民に奴隸扱いされたのち、転々として、日本送還のために中國のマカオに送り届けられ、そこでキリスト教宣教師のギュツラフに預けられた。ギュツラフはこの三人の日本人漂流民から日本語を学び、ヨハネ福音書のカタカナの日本語訳を出版した。その当時のヨハネ福音之伝はこのように始まる。「ハジマリニカシコイモノ、ゴ克拉クトモニゴザル」。(初めてに言がつた。言は神と共にあつた)漂流していつ命が絶たれるかもしれない

2つの文化に生きる 45

日本キリスト教団東大宮教会
バーガー京子



子どもたちの季節 仙道家

原田家日記

新年明けましておめでとうございます。

昨年も大変お世話になりました。

お陰様で子どもたちと一緒に樂しいお正月を迎えられます。

光の子どもの家には、今年度高校受験を控えている子どもが三人います。

そのうちの一人が、我が仙道家の可愛い女の子です。

三度の飯より勉強が好き、という人はなかなかいません。彼女もそうで、テストの前にぼちぼちやる、という具合でした。厳しい部活動を引退した後も学習中心に、とはなかなかいきません。

本人も志望校が決まりました。また、学校の仲間たちも『受験ムード』になります。勉強しなければ、という焦りは、異様にはしやいでしまつたり、小さい子たちにかまいます。しまう様子から充分窺えます。それだけ多く弱さを抱えているのだろうと思います。ぼちぼち、というペースですが見守ついていたいと思います。

池田 祐子

光の中で

佐藤家

明けましておめでとうございます。

皆様の暖かいお支えによって、子ども達と共に新年を迎えることができ

る喜びを感謝申し上げます。

小学三年生の宗和君は、去年の夏から町のサッカーフラップに入団しました。小さい頃からとても愛嬌があり、優しい心の宗和君ですが、日常の場面では誉められることよりも注意を受けることが多い、そのことで余計に落ち着かない生活にさせてしまっていると、誰よりも担当者の私が心を痛め、反省しています。

そんな宗和君にとって一つでも自信となるものをつくりたいと願い、宗和君と相談してサッカーを習うことになりました。

緊張や不安も一杯あつたのでしょうか、初めは後ろ向きになってしまふ時もありましたが、同じ家で一緒にサッカーを習っている先輩の榎緒君に、「宗和、サッカーランくなつたよな！」と励まされながら、毎回の練習を頑張っていました。

そして十二月。初試合がありました。宗和君はゴールキーパーを務めていました。応援に駆け付けたグループの仲間達のことを気にして、ボールから目を離してしまった瞬間も

河のほとりで 倉澤家



一年となりますように：



服部 沙絵子

ありましたが、確実にボールを受け止め、力強くボールを蹴る時の宗和君の目はとても真剣できらきら輝いていました。試合は惜しくも負けてしましましたが、宗和君の成長した姿を絶賛しながら帰路に着きました。

少しずつ着実に芽生えてきた宗和君の力を更に伸ばしていくような一年となりますように：

この一年も、子どもたちと豊かな生活が創れるよう励んでいきます。

八月に加わった二歳の葵、四歳の成黎、そして一年生の娘が揃うと大きな騒ぎになります。特に一日の疲れが出てきたり、眠くなつてくる午後八時を過ぎると私の奪い合いになることが多く、泣き声の聞こえることもしばしば。そして、いつもは

自分がやるべき事を果たし、正しいと思つたことを相手に伝えることがで

きる子どもたちを目の前にして、真っ直ぐに成長していることを実感で

き心からこう思えます。「みんな、い

て、とてもよくやつてくれています。が、自分自身のことになると少しルーズなところもありますが、家に必要なことは良く気付いてくれ、テキパキと行動しています。

例え夕食後の後片付けは「ごちそうさまでした」をするとキッキンにサッと入り洗い、すすぎ、食器拭き等を分担して手際よくしています。そこには職員が入らなくても問題がないくらいなのです。その時、私は小学生たちと一緒にになって騒いでいることが時々あります。中一の佳美には「ごちそうさまをしたら、小学生を興奮させないで！」と怒られてしまいますが、自分でも思いますが、そんな瞬間は嫌いではありません。今、自



河のほとりで 倉澤智子

明けましておめでとうございます。

今年も温かく見守つて下さいますようお願いいたします。

ここのお正月行事で私が一番好きなのはお餅つきです。つきたてのお餅が食べられるので、ここで働いて良かつたなあと感じる瞬間です。もちろんお餅が食べられるということが

だけではなく、子どもたちもこの日はよくお手伝いをしてくれますし、

「おいしい」と顔をほころばせながらもりもり食べます。食生活には気を配っているのですが、ここのお餅つきはもちは小つちやめです。心の栄養が足りないのでしょうか。でもみんなで頑張ってついたお餅はきっと心にも身体にも栄養を補給してくれるのではないかと思えてくるくらいおいしいのです。積みどり

思つたのと同時にかづきの事を思

出し、目頭があつくなりました。

「たとえば君が傷ついてくじけそ

うになった時は必ず僕が側にいて支えあげるよその肩を：」

子ども達と今一緒に生活していますが、未来を創るのは自分である事を強く感じています。自身も何か辛い事があると目を背けたくなりますが、未

すが、私の役割は子ども達が困難にぶち当たった時、そこから逃げるのではなく、まずは自分で何とか解決しています。私自身も何か辛い事が

あります。私自身も何か辛い事が

あります。昨年も皆様の暖かいご支援ありがとうございました。双子の要と美也子は、真剣な顔で踊りに歌に太鼓にと精一杯の力を發揮していました。会

季節のおとずれ 市川家



十二月の初め、幼稚園で表現発表会がありました。双子の要と美也子は、真剣な顔で踊りに歌に太鼓にと精一杯の力を發揮していました。会の最後に園児全員でビリーブという

精一杯の力を發揮していました。思つたのと同時にかづきの事を思

出し、目頭があつくなりました。

「たとえば君が傷ついてくじけそ

うになった時は必ず僕が側にいて支

えあげるよその肩を：」



あかり窓 心理室から

思つたのと同時にかづきの事を思

出し、目頭があつくなりました。

「たとえば君が傷ついてくじけそ

うになった時は必ず僕が側にいて支えあげるよその肩を：」

思つたのと同時にかづきの事を思

出し、目頭があつくなりました。

「たとえば君が傷ついてくじけそ

うになった時は必ず僕が側にいて支

えあげるよその肩を：」

菅原哲男著
民間養護施設
「光の子どもの家」施設長
家族の再生
ファミリーソーシャルワーカーの仕事

A5判 並装320頁
定価2500円
(本体2381円+税)
ISBN4-905913-96-9

- 「光の子どもの家」が長年にわたり取りくんできた家族関係への実践と理論の参考枠を提示。
- 「虐待」に象徴される家族の解体をいかに超えるか。いまこそ家族・個人・社会の「養育力」が問われている。
- 「養育」に関わるすべてのワーカーのための入門書 ◆申込みは光の子どもの家 小西まで◆

日誌抄 = 子どもと創る暮らしの風景 = 10月1日▶平成16年11月末日

2004年10月

幼稚10名小学生13名中学生8名高校生6名措置外4名
計41名

- 7日 田村様散髪ご奉仕 感謝
関東ブロック職員研修会へ市川保育士、服部保育士
- 12日 ヒロミ就職2次試験へ
○ 高校生中間考査の時期に 深夜まで学習の日々
- 13日 赤十字奉仕団、後援会の皆様によって昼食会
小学生グループがさいたま国体の応援旗作り
- 14日 熊谷児童相談所と管内児童養護施設の合同研修
- 15日 新任職員遠藤めぐみ着任 原田家へ
泰智、龍治が所属する大利根中学校野球部新人戦優勝 おめでとう！
- 16日 原田家秋のレクリエーションで千葉県清水公園へフィールドアスレチックで楽しく汗を流す
- 18日 さいたま国体炬火リレーに塾緒が参加
- 19日 熊谷児童相談所訪問調査 入所中の子どもたちの課題と今後について協議
- 23日 広島県竹原市保育所連合会で菅原施設長講演
- 24日 東大宮教会秋の子ども会に参加楽しいひととき
- 25日 これまで多大なご助力をいただいてきた国際婦人福祉協会より役員5名ご来訪して現地調査とご寄贈頂いたマイクロバスのご報告と職員たちとの歓談
- 30日 大利根中学校合唱コンクール・文化祭

11月

- 3日 第75回理事会 中間報告と役員人事などを審議
○ 第20回感謝の集い 日頃お世話になっている皆様をお迎えして第1部は感謝礼拝 第2部は園庭で食事会。心配された天気も上々で和やかに
- 10日 療養中の角張臨床心理士のリリーフで職員のメンタルヘルスを担当される佐藤協子臨床心理士來訪
- 11日 田村様散髪ご奉仕 先月に引き続きのご奉仕 感謝
- 13日 後援会による昼食会 大利根町町長、議長、福祉課の方々來訪してにぎやかにおいしく
- 19日 ヒロミ就職試験合格 試験、作文はトップの成績！本当に頑張りました！おめでとう！
- 22日 株式会社ワールド日栄フロンティア証券熊谷支店長來訪ご寄付を頂く
- 27日 聖学院大学ワーク 子どもたちと公園で楽しく
- 28日 夜、各家にクリスマスリースが、ホールにクリスマスクラシツが飾られクリスマスを待ち望むアドヴェントの四週間がこの日から
- 28日 菅原哲男著「家族の再生」出版刊行
<10月、11月の物品ご寄贈者>
松本明子 城地 小早川 大塚東一 細沼 堀澤マリ子 松本茂子 横村スミ子 須藤喜代春 岩槻教会 泉田泰子 関根和子 吉沢 松崎房子 二本榎幼稚園他多数の各位様 感謝してご報告致します。(くら)



☆譲賀新年☆昨年を表す漢字に「災」が当たられました☆子どもたちの状況は「激甚災」とでも言えばいいのでしょうか☆いつの世も、鎖のなかの最も弱い環が最初に壊されて鎖全体が役をなせなくなると言わってきたことを思い起^{こす}時です☆屈強の大人が新生児を殴り殺す。弱い女の子を拐かし無惨に殺害して放置する。自分で餌をとることを知らない子どもを餓死させる☆災害で最も早く死を迎えるのは弱い老人と障害者や子どもたちです☆今この世では強い者たちの思いを通すために弱い者を撃ち殺し続けています☆世界中には☆もてる者は更に得ようとし、持たない者は持っているものまで取り上げられる☆おおいなるものの言われる通りです☆しかし、おおいなるものは更にいる、受けれるよりは与えよ、と☆どちらにしろ、運んでくれるものは運んでくれる年にしたいと願い、自らを押し出しながら励みます☆ご支援を！

菅